

# 第9回八戸市水産物ブランド戦略会議 議事録

八戸市農林水産部水産事務所

## 第9回八戸市水産物ブランド戦略会議 議事録

- 1 日 時 令和5年7月18日(火) 午後1時30分
- 2 場 所 八戸パークホテル 2階「メイプルホール」
- 3 出席者 (委員)
- 佐々木 伸夫 八田 恭章 高野 豊
- 丸島 宏介

(事務局)

松田農林水産部長 茨島水産事務所長 大橋水産事務所副所長

西村副参事 千葉主幹 須藤主査

司会	<p>定刻となりましたので、ただいまより第9回八戸市水産物ブランド戦略会議を開会いたします。</p> <p>本日の会議でございますが、2名が所用により欠席となっておりますが、委員6名中、4名に御出席いただいておりますので、八戸市水産物ブランド戦略会議規則第5条第2項の規定によりまして、会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。</p> <p>また、本日は当会議のオブザーバーといたしまして、〇〇〇〇の〇〇様に御出席いただいております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これより議事に入ります。会議の議長は、規則第5条第1項の規定により、座長が務めると定めておりますので、座長よろしく願いいたします。</p>
----	--

座長	<p>それでは、次第に従い進めてさせていただきます。</p> <p>早速ではありますが、事務局より説明をお願いします。</p>
----	---

司会	<p>議題の説明に入ります前に、会議及び会議録の公開について御審議いただきたいと思っております。</p> <p>当市では、「附属機関の会議の公開等に関する取扱い」におきまして、会議の公</p>
----	--

	<p>開基準等を定めておりますが、当該規定に基づき、本日の会議については、公開とさせていただきますと考えております。以上につきまして、御審議いただきますようお願いいたします。</p>
--	---

座長	<p>ただいま説明がありましたが、提案のとおり、会議及び会議録を公開することとして、よろしいでしょうか。</p> <p>(委員の了承)</p> <p>御異議ないようですので、公開とさせていただきます。それでは引き続き、議題1「水産加工会社へのアンケート調査の結果」について、事務局より説明をお願いします。</p>
----	--

事務局	<p>お手元の資料、右上に資料1とついている資料を御用意願います。</p> <p>まず、1の趣旨の部分ですが、八戸市では水産加工会社の加工品の開発を支援する目的で、令和3年度から八戸市水産加工試作品製造支援事業を実施しておりますが、近年、八戸港の主力魚種の水揚げ量の減少という状況があり、令和5年度の制度の策定の基礎資料とするために、アンケート調査を行いました。調査は、52社に行いまして、期間は4月24日から5月12日までの19日間実施し、調査内容につきましては、別紙にアンケート調査用紙をつけております。</p> <p>2枚目を御覧ください。右上に資料1「別紙アンケート調査」と記載している資料となります。こちらが実際に送付したアンケート用紙でございまして、①②では業種や各社で現在取り扱うことの多い魚種をうかがっています。③では、水産加工品の新商品を作る予定があるかどうか、また、④では、その新商品について魚種や産地などを聞いております。⑤では、試作品の補助制度で支援があればよいと思う項目を各社3つずつ答えていただいております。裏面にまいりますと、⑥では、各社で抱えている課題を複数回答でうかがっております。⑦は、燃料費や原料費の高騰を受けて価格の見直しを行っているか、⑧では、ウクライナ情勢の影響などをうかがっております。この調査用紙をお送りいたしまして、回答いただきました。</p> <p>資料1にお戻りいただきまして、3の調査結果概要を御覧ください。詳細は後程</p>
-----	---

御説明いたしますけれども、調査を行った 52 社のうち 22 社から回答をいただきました。22 社のうち、新たな加工品を開発する予定があると回答した企業は 12 社、その 12 社のうち、八戸港産の原材料を予定している企業は 1 社という回答でございました。

4 では、前回、令和 5 年の 2 月に開催した第 8 回会議でのやりとりについて、振り返りという意味を込めて掲載しております。事務局からは、「八戸港産の原材料を使用する加工品」を対象に令和 5 年度は事業を行いたいと提案をいたしました。そのうえで、斬新性、簡便性等の評価、あるいは衛生管理や原材料使用割合で優位性を持たせた選考基準としたいと提案いたしましたところ、委員の皆様、あるいはオブザーバーの皆様からは、以下のような御意見をいただきました。これまでは試作品対象魚種をさばに限定していたが、不漁が続く現状を考えれば魚種にこだわる必要はないのではないか。インバウンド向け、EC サイト等の販売展開をする事業者には優位性を持たせてみてもよいのではないか。異業種とのコラボや商品のシリーズ化等、ストーリー性を持ち、可能性が広がる事業に加点してもよいのではないか。さらには、地域の水産加工業を盛り上げるということであれば、原材料の産地にこだわらず、支援を行い、スキルアップにつなげるという考え方もあるのではないか。このような御意見をいただいたところであります。

次にアンケート調査の詳細を御説明いたします。3 枚目のカラーの資料を御覧ください。右上には資料 1 別紙と記載しております。

①の業種につきましては、塩干塩蔵、水産缶詰瓶詰、冷凍等、比較的バランスよく回答があったところでございます。②の現在貴社で取り扱うことが多い魚種という質問に関しては、いか、さば、いわしと従来からの主力品種を扱っている企業が多いというのがわかります。③の新商品を作る予定の質問に対しましては、22 社のうち 12 社があると回答いただいておりますと、裏面にまいりますと、新商品の魚種といたしましては、いかが 6 件、いわし 4 件、さば 2 件というふうが続いております。やはりさばの水揚げが大きく減っている現状では、さばと答えた企業は少ないという印象です。④-2 の、その新商品の魚種の産地はどこを予定しているかという問いに対しましては、八戸港産が 1 件、青森県産が 1 件、国産 6 件、海外産 4 件と、原料を港にこだわらず幅広く集めて、商品を作っていくという傾向がみられます。⑤では、試作品の補助制度で支援があればいいという項目をうかがった質

	<p>問に対しましては、上から、原材料費、人件費、パッケージデザイン費、外部アドバイザーなどの費用、一つ飛びまして調査費、ここまではこれまでの補助制度で対象としている費用であります。一方で、5番目の新商品の宣伝展開費用、こちらを支援対象になればいいという回答が7件ありましたので、この部分が令和5年度の事業を作るときに見直しする必要があるのではないかと感じたところです。</p> <p>⑥の、現在抱えている課題では、原材料の確保、人材の確保という項目が一番多くなっておりまして、生産性向上、省人化の推進、売上高の減少、生産・物流コストの上昇、このあたりが続いております。⑦は、原料価格や燃料費等の高騰を受けて、販売価格の見直しを行っていますかという問いに対しては、22社中21社が値上げをしたという回答でしたので、生産コストが上がっている分を価格転嫁することが一定程度進んでいる状況が確認できたところです。アンケート結果につきましては以上でございます。</p>
--	--

座長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御意見、御質問等ございましたらお願いします。</p> <p>(なしの声)</p> <p>特にないようでございますので、次に、議題2「令和5年度八戸市水産加工試作品製造支援事業（案）について」、事務局より説明をお願いします。</p>
----	--

事務局	<p>それでは、資料2と右上に記載された資料を御覧ください。</p> <p>先ほど御説明いたしました、水産加工会社へのアンケート調査で明らかになった、各社の商品開発の動向を踏まえた内容に変更いたしまして、今年度の事業を実施したいと考えております。事業の趣旨につきましては、八戸市の水産物等を使った加工品の開発を支援するため、試作品を製造するための事業に要する経費を補助することで、八戸市の水産加工品のブランド化を推進、及び水産加工技術の振興を図るものでございます。対象者につきましては、(1)(2)の要件を満たす方ありますが、こちらはこれまでと変わりありません。</p> <p>変更点といたしましては、3に記載しております。一つ目は対象事業です。原材</p>
-----	---

料を八戸港産に限定せず、他港産も対象とするものです。ただし、八戸港産を使う企業には、選考の際に加点対象としたいと思います。また、魚種についてもさばに限定せず、すべての魚種を対象としたいと考えております。変更点の二つ目は対象となる経費でございまして、こちらは試作品を販売するためのECサイトの構築や登録費用、首都圏等への販路拡大を展開する販売促進費につきましては、これまでは対象となっておりませんでした。これらを対象経費に追加して実施したいと考えております。

具体的には次のページに新旧対照表を用意しておりますので、御覧いただきたいと思っております。左側が改正後となっており、令和5年度の案でございまして。また、右側が昨年度、令和4年度のものとなっております。変更箇所にはアンダーラインを引いており、趣旨の部分で数か所引いてありますが、八戸港産に限定しないということで、これまで「八戸市の水産物」となっていた部分を「水産物等」と変更しております。また、「八戸市の水産加工品のブランド化の推進、及び水産加工技術の振興」の部分を追加しております。

先ほどの説明と重なりますが、3の対象事業の部分の変更点は、原材料の産地、魚種を制限しないということで、(1)の部分はこれまではさばと記載しておりましたが、これを削除しまして、水産物の使用割合が商品全体のおおむね30%以上であるということといたしました。これは従来のさばの場合も、原材料の使用割合を定めておりましたので踏襲しております。

次のページにまいりまして、4の対象となる経費と補助金額につきましては、⑥の部分の先ほど御説明いたしました、試作品に関する販売促進費を追加しております。

令和5年度の試作品製造事業の案といたしましては、このように展開していきたいと考えております。説明は以上でございまして。

座長	ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いします。
----	--------------------------------------

A委員	水産物等にはウニも入りますでしょうか。
-----	---------------------

事務局	入ります。
-----	-------

座長	水産物等にはウニも入るとのことでございます。
----	------------------------

B委員	八戸産の水産物だけの加工品ですと、材料やコストの問題等がございますので、この形でよいかと思えます。
-----	---

座長	私からも事務局に対して一つ質問です。当初、この八戸市水産物ブランド戦略会議では、安全安心な水産物をいかに販売させていくかという目的で組織され、ブランド化を図っていくという戦略会議だったと思いますが、元々は水産物そのもの、いろいろな魚をブランド化しようという動きを感じていたのですが、今は何をブランド化していきたいと考えているのか、共通認識として委員の皆さんと共有しておきたいです。
----	--

事務局	初期は安全安心な水産物の流通というところに重きを置いて進めておりました。さばに特化してブランド化を進めていくということで、加工品の試作品製造を支援してまいりましたけれども、さばが記録的な不漁となり、なかなかさばにこだわれない状況となり、それでは次の展開としてどのようにしていこうかと考え、今回説明した素案となっております、募集要項の趣旨のところを追加している、新旧対照表の1の趣旨の下線を引いている部分「水産加工品のブランド化と水産加工技術の振興」が、これからのブランド戦略の中で、重きをおいていく点になるのだろうと考えております。
-----	--

座長	ありがとうございます。一つの意見といたしまして、ブランド化というものを考えた時に、突き詰めていくとブランドとは決して商品ではないのです。カテゴリー自体がブランドになっていくということもありますので、もしかすると八戸市の加工技術とかそういったものが、キーワードになるかもしれないと私個人は思っております。ぜひその辺をぶれないような形で進めていってほしいと思えます。
----	---

事務局	御意見ありがとうございます。
-----	----------------

座長	そのほかにございますでしょうか。なければ、議題3の令和5年度八戸市水産加工試作品製造支援事業選考要領案について事務局より説明をお願いいたします。
----	--

事務局	<p>それでは、資料3と右上に書かれた資料を御用意ください。先ほど説明した支援事業の内容変更に伴いまして、選考要領につきましても合わせて変更するものです。</p> <p>変更点は、評価項目でございます。令和4年度は(1)の「将来性のある加工品試作事業となっているか」から、(4)の「加工場の衛生管理レベル」まで記載のとおりでしたが、令和5年度につきましてもは、(2)の部分、これまで漁船となっておりますが、これは魚種をさばに限定しており、EU登録船の場合加点しておりました。今年度は魚種を問わないということになりましたので、この部分を削除いたしまして、ECサイトや首都圏への販売戦略のような、販売促進計画があるかというところを評価項目に加えたいと考えております。詳細につきましては、次のページに新旧対照表を用意しておりますので、こちらで説明いたします。</p> <p>左側が改正後の案でございます。項目の一つ目、「将来性のある加工品試作事業となっているか」につきましては、内容、配点ともに修正ございません。変わりますのは二つ目の販売促進計画です。配点3点で、ECサイト、首都圏等への販路拡大の計画があるかないかで加点を行います。三つ目の水揚げ場所につきましては、これまで魚種はさばが対象でしたので、A棟で水揚げされたかが加点ポイントとなっておりますが、これを八戸港産かどうかというところで評価を行います。四つ目の加工場の衛生管理レベルにつきましては、HACCPに基づく衛生管理であれば4点、HACCPに沿った一般衛生管理であれば1点という加点方法に変更したいと考えております。説明は以上でございます。</p>
-----	--

座長	<p>ただいまの説明に対しまして、委員の皆さまから御意見、御質問等ございましたらお願いします。</p> <p>(なしの声)</p>
----	---



	<p>それではせつかくなので私から質問させていただきます。この1の「将来性のある加工品試作事業となっているか」で、斬新性、見た目、簡便性、素材という項目があるのですが、この部分を採点する時に、一括で採点するというのが意外に難しいなと毎回感じていました。配点を項目それぞれで決めてもいいのかなと思ったのですが、いかがなものでしょうか。</p>
--	--

事務局	<p>項目を4つに分けて、例えば各10点というイメージでよろしいでしょうか。検討させていただきたいと思います。</p>
-----	---

座長	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>あと、この合格点は35点でしたでしょうか。</p>
----	---

事務局	<p>そのとおりでございます。</p>
-----	---------------------

座長	<p>そのほかよろしいでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、本日の議題は以上となりますが、全体を通じて、このほかの件でも結構ですので、各委員の皆さまからひとこと御意見、御感想をいただければと思います。</p>
----	--

C委員	<p>今回、改正点が結構あったようですけれども、これに沿ってやっていくと、またいいものができるのではないかなと感じています。以上です。</p>
-----	---

A委員	<p>できれば結果の報告をいただければありがたいです。去年これをしましたが、このような成果がありました。あるいは、このように取引先が増えました。このような報告があると、事業効果の評価もあがってくると思いますので、できれば認定した企業の、その後の動向を教えていただければありがたいと思います。</p>
-----	---

座長	<p>同感です。よろしくお願ひいたします。</p>
----	---------------------------

B委員	<p>改正後を見まして、八戸産にこだわらずに輸入物も使ってやっていくということに関しては、私も飲食店をやっております、青森の食材が手に入りにくいのも知っていますので、このような流れでよりいいものをできるだけ安く、コストを抑えて作って、八戸の水産物のブランドになるものを作れたらいいなと思いました。</p>
-----	--

座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは私からも一言お伝えしたいと思います。昨年、試作品で作られ商品化されたものは、地元紙に非常に取材していただいて、テレビにも出ていたりしているのですが、全国的なメディアに出ることが今はないという状況です。それぞれの企業努力はもちろん必要だと思うのですが、ブランドというものを考えていくとパブリシティが非常に重要になってきていて、この部分を市としてもバックアップして、キー局や中央紙に出るような形になるように支援していくことが必要なのかなと思います。さらに、その部分で考えると、先ほどの評価項目の中では、「斬新性」が非常に重要になってくると思います。差別化を含めてですが、その辺も重視していかなければならないのではないかと私個人は思います。ブランド化というものは難しいですが、ただそこを見極めていかないと戦略にならないと思うので、そういったところもぜひ市のほうにはお願いしたいと思います。</p> <p>その他ございますでしょうか。</p>
----	---

事務局	<p>どのタイミングで御紹介すればいいのかと思い、報告が遅くなってしまいましたが、先ほど、これまで会議の中で採択された商品がその後どうなったのか、そのようなことも聞ければいいという御意見がありましたけれども、先日地元紙で昨年度の支援事業で採択された商品が販売開始になったという記事が掲載されておりました。こちらは6月には東京都内での展示会にも出展され、飲食店や洋食業界の関係者、海外のバイヤーからも高い評価を受けたという内容が書いてありました。このような新商品をまたこの事業で支援していきたいと思っておりますし、先ほど御意見のありました、外に対しての発信についての支援というものも検討していきたいと考えております。</p>
-----	---

座長	ありがとうございます。それでは、本日参加いただいておりますオブザーバーの方からも御意見をいただきたいと思います。
----	--

オブザーバー	<p>要項等を見て一点気になりましたが、対象経費となりました販売促進費についてですが、どこまで入るのかなということが事業者でこれから手を挙げる人が、結構気にされるのかなと感じました。あともう一点、今回から八戸港産のものに限定しないということですが、水産加工品のブランド化、水産加工技術の振興ということで、一口にブランド化という言葉はよく使われる言葉ですけれども、ブランドとは認知してもらってなんぼだと思います。いいものだとして他人にきちんと評価されないとブランドになりえないと思いますので、先ほど座長のお話のとおり、いかに知らしめていくかという点と、今回、水産技術の振興というところに注力していくということですので、評価項目の斬新性という点で、このような作り方をしているの斬新だというものがあれば、消費者も納得するのではないかと思います。</p>
--------	---

座長	ありがとうございます。それでは、本日予定していた議事は以上となります。進行を司会にお返しします。
----	--

司会	<p>座長、ありがとうございました。</p> <p>次回の会議でございますが、本試作品製造支援事業の募集を行いましたあと、8月頃に開催いたしまして、応募のあった試作品の選考を行っていただく予定としております。</p> <p>詳細の日時については、後日御連絡をさせていただきますので、委員の皆様には、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして、第9回八戸市水産物ブランド戦略会議を閉会させていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
----	--